

いき 域の資源 し げん

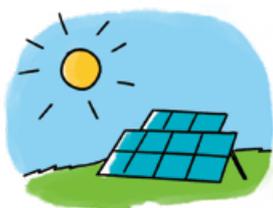
自然エネルギー(再生可能エネルギー)

石油や石炭など、エネルギーを作るための化石燃料は、ほとんどを海外から輸入しています。わたしたちのまわりにあるものから、エネルギーを作ることはいまできるのでしょうか？

わたしたちのまわりには、太陽光、風力、水力、木質バイオマス、廃棄物エネルギー、地熱、温泉熱など、一度利用しても短期間で再生が可能な「再生可能エネルギー」と呼ばれるエネルギーがあります。この中でも、太陽光を中心にその活用にかかる費用は急速に安くなっており、世界的に普及が進んでいます。日本の再生可能エネルギーは国全体で必要なエネルギーの約1.8倍もあると推計されており、上手に活用していくことが大切です。

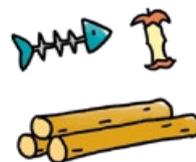
太陽光発電

日光がよく当たる場所などにソーラーパネルを置き、太陽光の力で発電します。



バイオマス発電

木くずなどの生物の資源(バイオマス)を使って発電します。



風力発電

風が風車を回す力で発電します。海の上で行う海上風力発電もあります。



廃棄物エネルギー

廃棄物を利用して発電します。発電の時に出る熱も利用します。



地域の資源は「お互いさま」

都市には人とお金が集まりやすい一方で、地方には食料、水、木材といった資源やエネルギーが存在します。こうした人やお金、資源、エネルギーなどが循環することで、お互いに必要としているものを補い合い、支え合うことができます。こうした地域間のつながりを、都市と地方だけでなく、様々な地域どうしが築いていくことが必要です。

